大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行いますので、

多数ご来聴下さい。

記

1.　講　師　長田　重一　先生
　　　　　　京都大学大学院・医学研究科　教授

2.　演　題　細胞死と貪食

3.　日　時　平成 23 年 7 月 1 日（金）
　　　　　　17 時 00 分～19 時 00 分

4.　場　所　共用講義室 2(M&D タワー2F)

5.　内　容

私達の体内では毎日、30-100 億の細胞が死滅する。死細胞は phosphatidylserine を細胞表面に暴露、これをマクロファージが認識､死細胞を貪食分解する。死細胞が貪食されないと細胞膜は破裂、免疫系を活性化、自己免疫疾患を発症させる。一方、死細胞が分解されないと、マクロファージが活性化され強い炎症反応を惹起する。このように死細胞の貪食、分解は生体の恒常性を維持する上で非常に重要な過程である。

連絡先：分子代謝医学分野　小川佳宏（内線 4931）